

GOMの取組について

GOM事務局：

松本地域振興局 林務課 普及係 主任 古澤 宏章

(H29年度林務部改革PTメンバー)

本日本お伝えしたいこと

- ・GOMとは何者か・・・？

※“ごむ”と読みます

GOMとは何者か・・・？

GOMの位置づけ

林務部改革PT提案！

林務部コンプライアンス行動計画

取組項目⑩オープンミーティング

※業務や所属にとらわれない自由な知識や技術研鑽の場

GIS等のICTや先端技術等に着目したもの

GISに関するオープンミーティング

GISとは・・・？

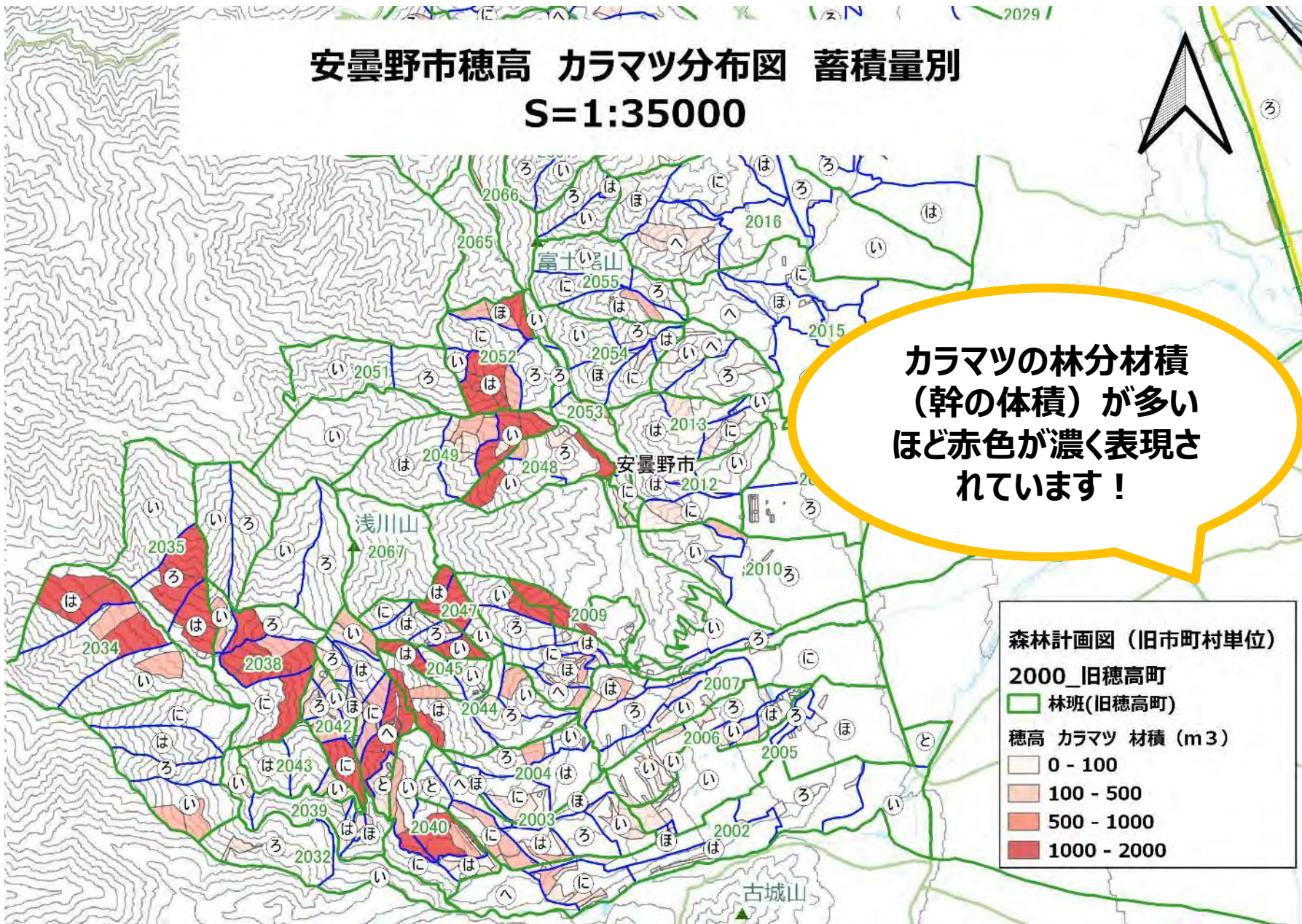
Geographic Information System
(地理 情報 システム)



位置情報の付いたデータを重ね合わせて分析したり、色分け図面を簡単に作成することができるシステム

安曇野市穂高 カラマツ分布図 蓄積量別

S=1:35000



カラマツの林分材積
(幹の体積) が多い
ほど赤色が濃く表現さ
れています！

森林計画図 (旧市町村単位)

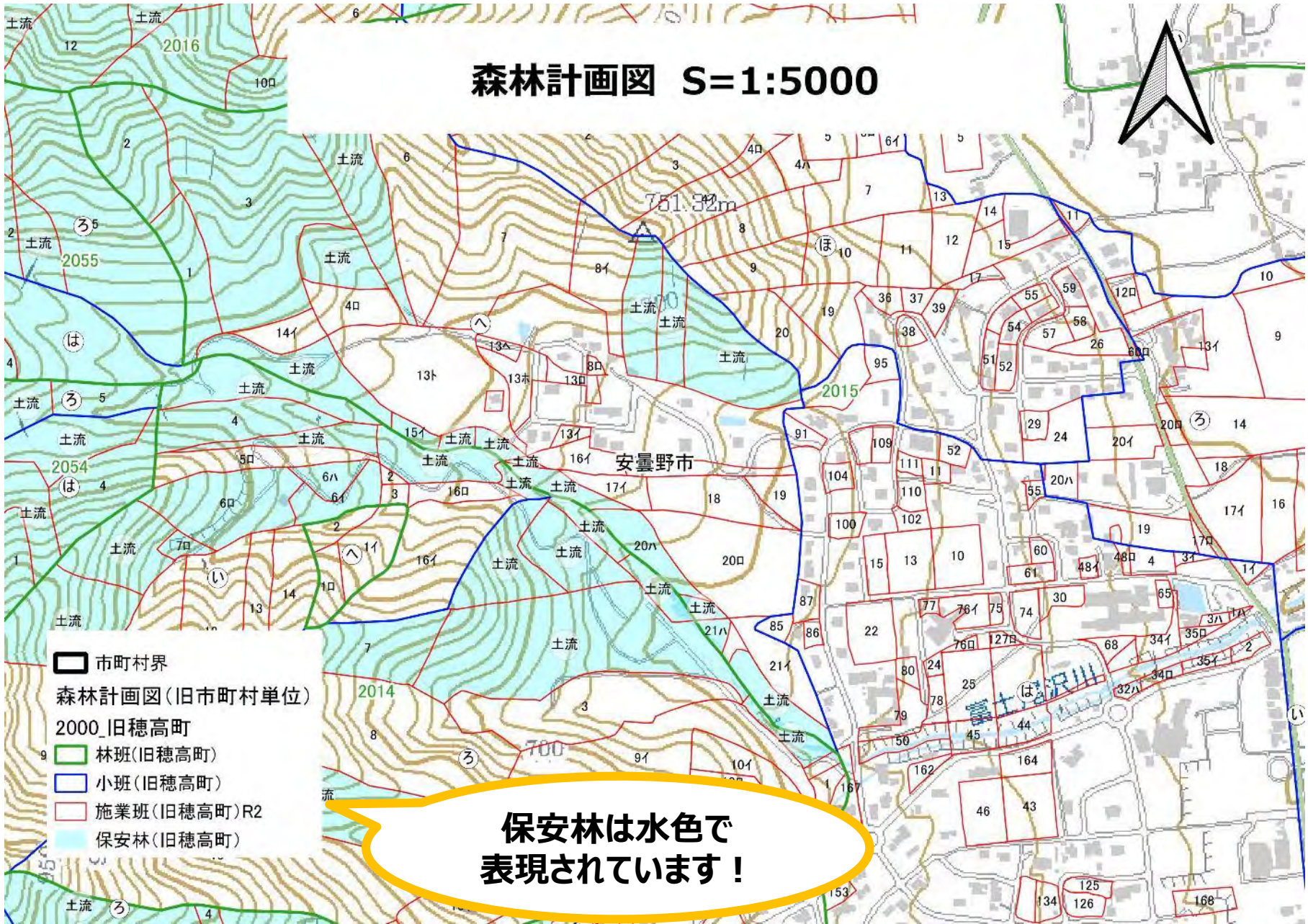
2000_旧穂高町

林班(旧穂高町)

穂高 カラマツ 材積 (m³)

- 0 - 100
- 100 - 500
- 500 - 1000
- 1000 - 2000

森林計画図 S=1:5000

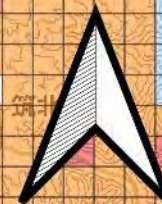


- 市町村界
- 森林計画図(旧市町村単位)
- 2000_旧穂高町
- 林班(旧穂高町)
- 小班(旧穂高町)
- 施業班(旧穂高町)R2
- 保安林(旧穂高町)

保安林は水色で表現されています！

マツクイムシ被害レベルマップ° (安曇野市)

S = 1 : 100,000



マツクイムシの
被害度合が
色分けされて
います！

500メッシュ (R2松本地域; 日本語)

激害

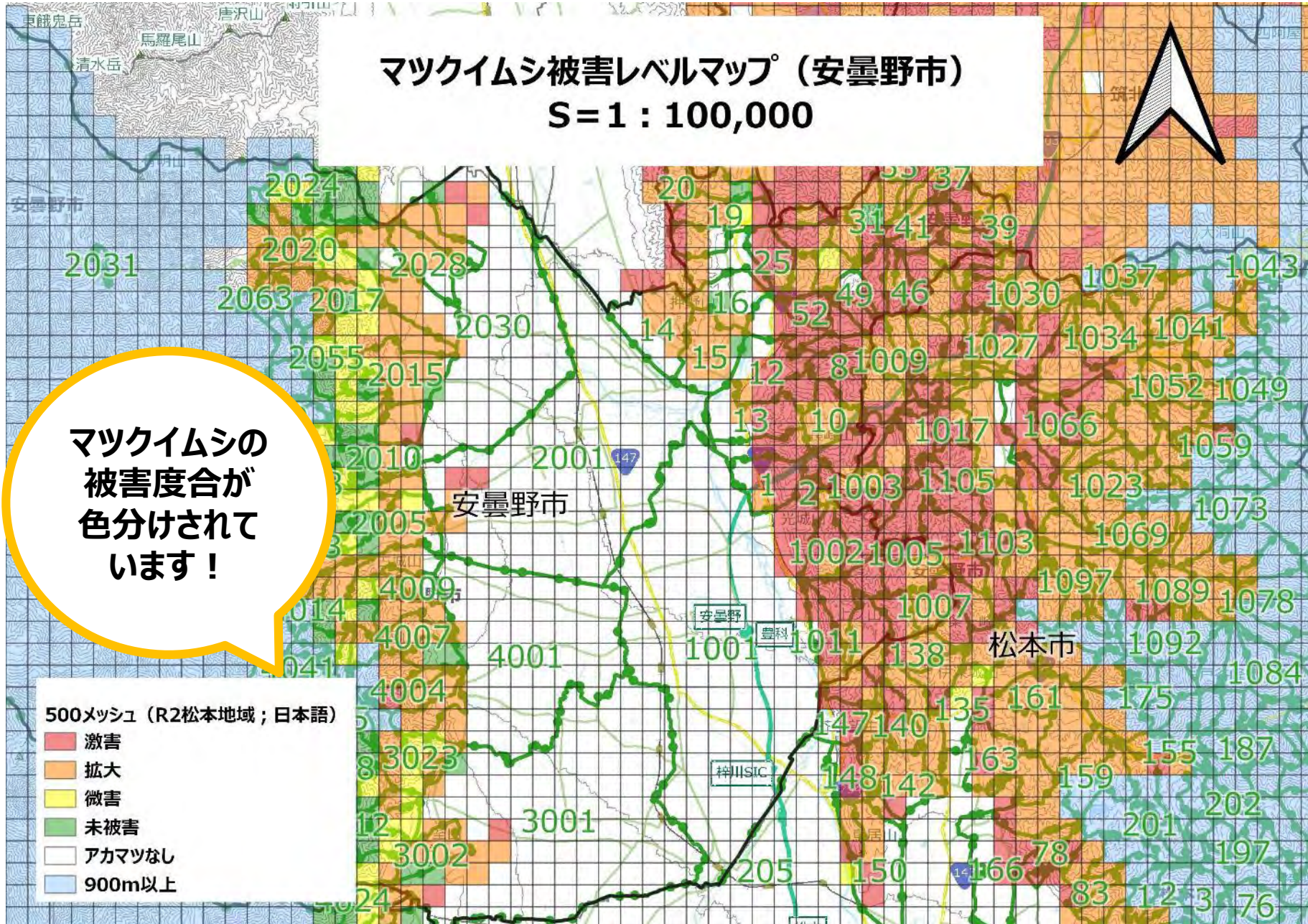
拡大

微害

未被害

アカマツなし

900m以上



GISとは・・・？

Geographic **I**nformation **S**ystem
(地理 情報 システム)



行政が施策を考える上での、

意思決定を支援する有効なツールの一つ

うまく活用
したい！

GOMとは何者か・・・？

『 . . . をやっけて欲しい』

ではなく...

『 . . . をやりたい

誰かに手伝って欲しい』

G O M

GIS Open Meeting (通称:ごむ)

業務の効率化・高度化・高質化を目指し、GISを中心とする各種ツール・データ・先端技術等の活用に関する検討・技術研鑽・普及等を行う職員有志グループ(2018年11月立上げ)

GOM

…ストロングポイント…

① 参加者が多様

普及、林産、林務、治山、林道、県庁、現地機関と、分野を超えた情報交換と、若手だけでなく、ベテラン職員の参加もあり、組織の枠を超えた活動ができている

② 自らが問題提起

初回のブレストから、仕事で抱える問題を提起し、自分たちで模索する
(与えられた問題をこなす業務とは異なる)

③ 解決方法を自分で思考する

従来の伝達研修や、マニュアルに従うのではなく、自らが解決方法を思考する

明るく、楽しく、前向きに活動中！



- ① 立上げから2021年1月時点で、10回のGOMを開催。
- ② 県内各所、延べ165名の参加人数をかぞえる。
- ③ ボトムアップで、GISを普及していくための基盤づくりを目指す。
(QGISのインストール協議不要対応他、『データ整備』『研修方法の検討』『活用事例共有』等、より高度なGISの活用技術を『学び』『人に伝え』『人を育成する』)
- ④ GISやICT技術に関する最新情報の収集、操作習得を目的として、専門部会(最新技術勉強部会)を2020年1月より発足。



GOM専門部会では、“GNSS”に着目し、森林域での様々な業務への活用を検証中

従来の業務に対し「業務の効率化」「精度の向上」等を目標としています

GOM専門部会での検証結果や検討内容は、随時**GOM**で報告、共有を図っています

以上、GOMの概況でした。

御清聴ありがとうございました

G O M